

作業療法技術学 I (画像診断)

【科目名】作業療法技術学 I (画像診断)		【担当教員】小宮 桂治
【授業区分】 専門分野 (特論)	【授業コード】 4-26-1015-0-1	(メールアドレス) keijksuguru@kfa.biglobe.ne.jp
【開講時期】3 年次・後期	【選択必修】必修	(オフィスアワー)
【単位数】1 単位	【コマ数】8 コマ	授業開校日、非常勤控室で対応
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・特になし		
【講義概要】 (目的) 作業療法の対象として代表的な中枢神経障害 (特に脳血管障害) 患者に対するより具体的なアプローチ構築のために、CT・MRI 等の診断技術を学修することを目的とする。 (方法) 実際の画像を使いながら診断の実技を交えた講義を中心とする。		
【一般教育目標(GIO)】 ・ 画像写真からある程度の診断が可能となる。 【行動目標(SBO)】 ・ 診断後にある程度の障害を推測する。 ・ 予後を推測できる		
【教科書・リザーブドブック】 酒井保治郎監修、小宮桂治編集「よくわかる脳の障害とケアー解剖・病脳…画像と症状がつながる」南江堂、2014 年、¥2500(税別)		
【参考書】 本間光信 高橋仁美編集「リハビリテーションのための画像の読み方」メジカルビュー社、2015 年、¥3000(税別)		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の G P A 制度に従う。 成績評価は期末試験およびレポート点により総合的に評価する。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		60	0	40	0	0	0	0	100 点
評価指標	取り込む力・知識	60		20					80
	思考・推論・創造の力			20					20
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容			授業の運営方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)	
	画像診断 (1) 画像読影の基礎知識 (脳の解剖)			講義・演習		脳の解剖部位と名称の整理 (大脳、基底核、脳幹)		40	
	画像診断 (2) 画像読影の基礎知識 (脳の血管)			講義・演習		心臓からの血管の走行が脳内でどのように分岐しているか整理する		40	
	画像診断 (3) CT・MRI の基礎的原理			講義・演習		CT・MRI の基礎的原理について整理する		40	
	画像診断 (4) 脳梗塞の画像読映演習			講義・演習		脳梗塞の病態整理に基づく画像読映の基礎を整理する		90	
	画像診断 (5) 脳出血の画像読映演習			講義・演習		脳出血の病態整理に基づく画像読映の基礎を整理する		90	
	画像診断 (6) 頭部外傷の画像読映演習			講義・演習		頭部外傷の病態生理に基づく画像読映について整理する		90	
	画像診断 (7) その他の疾患の画像読映演習			講義・演習		水頭症や変性疾患の病態生理に基づく画像読映について整理する		90	
	まとめ			講義					

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。